

風しん流行への緊急対策(補正予算)

みらい
川崎市議団
連載No.111

12月議会が開会中です。今議会では、風しんの流行に伴う緊急的な補正予算として8000万円を計上しています。内訳は、抗体検査及びMR混合ワクチンの予防接種(免疫が十分でない方)の委託料と広報費等です。

か)を行っていたとき、抗体が十分でない場合は、MR(風しん・麻疹)混合ワクチンの予防接種を自己負担3200円で接種することができるとの制度です。

12月からの新たな事業内容は、これまでの●妊娠を希望する女性

も可能ですが、その場合は、各医療機関によって自己負担額が異なってくるのでお気を付け下さい。

1、●妊婦のパートナーに加え、30〜50歳代の男性を対象に加えています。本事業については、市内の協力医療機関にて、まず抗体検査(風しんの免疫が十分なのか否

医療機関への聞き取り調査を行うと、ワクチンの在庫が不足しているために1か月程度待たなければいけない場合もあるとのこと

す。市へは、市内医療機関と連携して可能な限り速やかにワクチンの確保に努めるよう要請したところです。

患者者に関する割合は、男性が女性の4.5倍、特に30代40代の男性に多いそうです。また、妊娠20週頃までの女性が風しんウイルスに感



川崎市議会 議員 いわくま ちひろ
●昭和50年生まれ 43歳
●英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン 国際政治学
●英国国立ウェールズ大学大学院 専門は国際政治学
●国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、小〜高一コダード一溝口店前で市政報告を継続中(12年11月)

風疹の予防接種の制度と年齢

年齢	男性	女性
~28	2回個別接種	
28~31	1回個別接種	
31~39	中学生の時に医療機関で個別接種	
39~56	接種していない	中学校の時に学校で集団接種
56~	接種していない	

染すると、胎児にも風しんウイルスが感染して、目、耳、心臓に障害を持つ先天性風しん症候群の子が生まれる可能性があるとのこと。妊娠中は、風しん含有ワクチンの接種は受けられず、受けた後は2か月妊娠を避ける必要があることから、女性は妊娠前に2回の風しん含有ワクチンを受けておくことが望ましいとされています。風しんは、ワクチンで予防可能な感染症です。みなさんのご協力をお願いします。